

貧酸素水塊速報 (2022年)

【発行】○ 千葉県水産総合センター
神奈川県水産技術センター

千葉県農林水産技術会議
内湾底びき網研究会連合会

【協力】 千葉県環境研究センター

東京都環境局

第三管区海上保安本部

(国) 国立環境研究所

○ モニタリングポスト(海上保安庁、国土交通省 関東地方整備局)

(今回の速報は“○”の機関の観測データを使用して作成しました)

令和4年6月8日観測結果

貧酸素水塊は、内湾北部に広く分布していました(図1)。6月7日から吹いている北東風のため、貧酸素水塊は北偏し、湾奥(船橋港内や千葉港内)では青潮が発生しています。南寄りの風に変わるまで継続するので、注意してください。縦断ラインでは、北部に見られ、その規模は8%に上昇していました(図2,3)。今後は、更に広い範囲に拡大する可能性があります。表層水温は18~20°C、底層水温は16~19°Cでした。

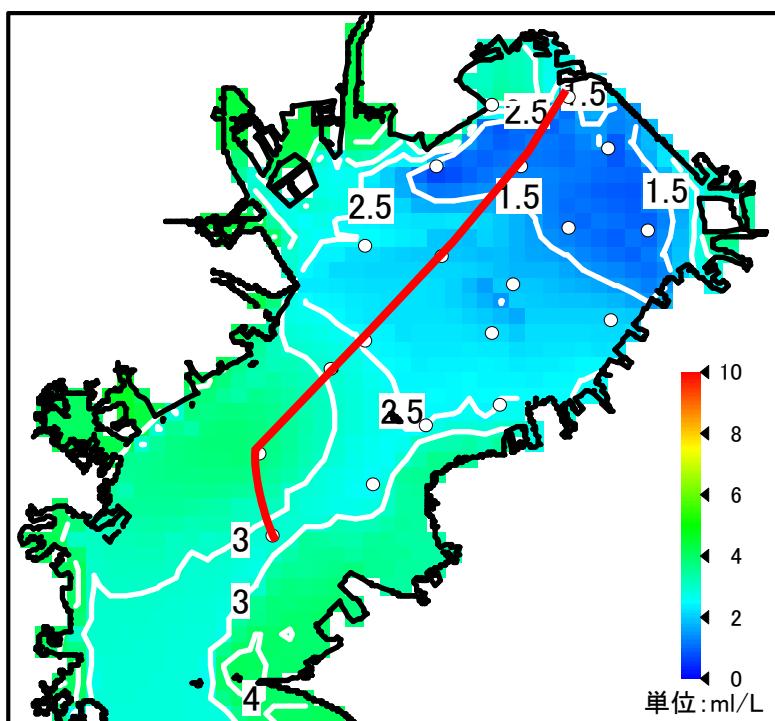


図1 底層の溶存酸素量分布(赤線は縦断ライン)

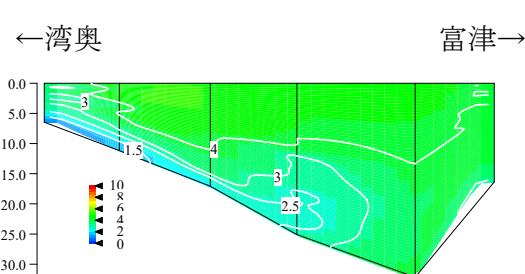


図2 縦断ラインでのDO鉛直分布

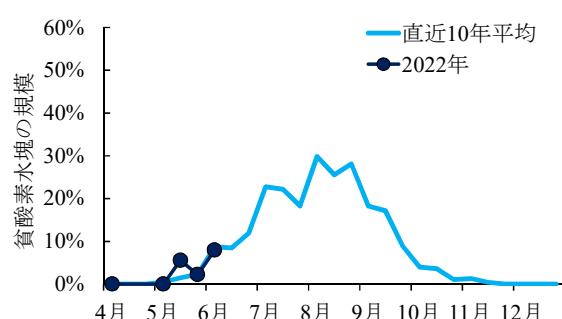


図3 貧酸素水塊の規模
(左図で貧酸素水塊(2.5ml/L以下)が占める割合)

酸素飽和度と溶存酸素量(DO)の目安		
酸素飽和度	溶存酸素量	備考
50%	2.5mL/L	貧酸素水塊
30~40%	2.0mL/L	魚類に影響
	1.5mL/L	貝類危険
	1.0mL/L	